

① 研究主題

「自分の思いや考えを伝え合い、つながり合う子ども」の育成

～集団を育て、個が生きる学級活動を通して～

② 主題設定の理由

本校は、今年度、創立42年目を迎える。本校はこれまで、平成29年度まで国語科を中心に、研究を行ってきた。昨年度より、下記の理由で集団がつながりを持ち、その中で主体的に活動し個が生きる特別活動（学級活動に視点を当てた）の研究に取り組むことにした。

ア 本校の児童は、様々なことに興味や関心をもつことができるという長所が見られる半面、自分で考え判断して行動したり、目標を立て見通しをもって取り組んだりすることには、まだ課題が見られる。

イ 自分を通そうとする思いが強く、好ましい人間関係を築けない児童、生活習慣の乱れから学校生活にしっかりと向かうことができない児童、規範意識や集団の一員としての役割や責任を果たそうとする意識が低い児童も少なからずいる。

そして、児童が学級の友達と協働して活動したり、学年や学級を超えた様々な集団の中で、試行錯誤しながら進んで活動したり経験を積んだりすることにより、集団の一員としての自覚や自己の生き方についてのよりよい認識を深めさせたい。また特別活動全般を充実させることにより、立ち向かう課題を解決しながら協働して生活しようとする自主的、実践的な態度が身に付けさせ、支持的な学級集団を築き上げ、各教科等における学力の向上へとつながることを目指して研究に取り組んでいきたい。

③ 研究目標

自分の思いや考えを伝え合い、つながり合う子どもの育成をめざし、協働して学習し、ふり返りに視点をあてた自主的、実践的な学級活動の指導の在り方を究明する。

④ 研究仮説

学級活動において、問題解決に向けて協働的に話し合う経験を積み重ねていけば、自分の思いをはっきり表現し、伝えようとする意欲が高まるとともに、生活上の集団や個人の問題に気づき、みんなで協働して話し合ったり、問題の解決に努力したりして、よりよい生活を築いていく力が

育つであろう。

⑤ 研究内容

ア 子どもたちが意欲的協働的に話し合うための手立てについて

イ 協働的な学びのための発達段階・学習過程に応じた交流活動（友達タイム）の在り方

ウ 合意形成に必要な思考力・判断力・実践力を育てる指導と評価の在り方

⑥ 目指す子どもの姿

○ 自分の考えや思いを持ち、お互いの良さを尊重しながら意欲的協働的に話し合う子ども

○ みんなで問題を解決して、よりよい生活づくりに協働して取り組む子ども

○ 思いやりの気持ちを持ち、協力し合うことの大切さに気付きながら、仲間と共に生き生きと活動する子ども

	低学年	中学年	高学年
目指す子どもの姿	<p>○自分たち友達の意見をしっかりと聞き、自分の意見がしっかりと言える。</p> <p>○自分たちで決めたことに、友達と力を合わせて取り組み、一緒に仲良く、進んで活動することができる。</p>	<p>○異なる考えについてもしっかりと聞き、理由をつけて自分の意見を述べ、学級全体のことを考えて話し合い、互いが納得できる結論を導き出すことができる。</p> <p>○自分たちで決めたことに、自分の役割に責任を持ちながら取り組み、互いに協力して、意欲的に活動することができる。</p>	<p>○相手の意見を受け止めながら自分の意見を述べ、学級全体のことを考えて話し合い、よりよい解決方法を見出して、互いが納得できる結論を導き出すことができる。</p> <p>○自分たちで決めたことに、自分たちの役割や責任を果たしながら取り組み、互いに支え合って、自主的に活動することができる。</p>

⑦ 研究組織

ア 全体会…全職員で理論研究・授業研究会を行い、必要に応じて講師を招聘し、研究を深める。

イ 研究推進委員会…校長・教頭・教務主任・研究主任・研究副主任・低中高代表それぞれ1名、

級外代表1名、特別支援学級代表1名で構成し、主に研究の方向や方法について協議し、実践的研究のための計画立案・連絡調整を行う。

ウ 学年部会…低学年・中学年・高学年・特別支援学級の学級担任及び級外で構成し、実践的研究を行い、本研究を検証する

エ 専門部・・・指導部を研究に活かすために活用する。

○ 授業構想部・・・授業を実践する先生で構成し、学習過程や話し合いの手立てについて話し合う。学級会マニュアル（話し合いの進め方）を作成する。

○ 環境整備部・・・主に特別支援学級担任、級外が担当し、学級会で使用するカードや名札などの作成ときらきら通りの掲示物の計画などを行う。

⑧ 期待される研究の成果

○ 主体的に学級活動に参加し協働的な話し合い活動を行い、ふりかえりをする事で、よりよい学級集団の形成をすることができ、自己の高まりを自覚する。

⑨ 研究の計画

令和2年1月31日（金）佐賀県小学校特別活動研究大会にむけ、計画的に授業実践を行う。

ア 県大会 授業者 4年1組 原田奈緒教諭 6年2組 中島悠介教諭
対等学級は事前授業研究会を行う。

イ 6月に問題提起の全体授業研究会を行う。

ウ 8月29日（木）三神教育事務所学校訪問で全体研究授業を行う。

エ 通常学級は県大会前までに全員授業を行い、授業力を向上させると共に研究を深める。